

町民意向把握

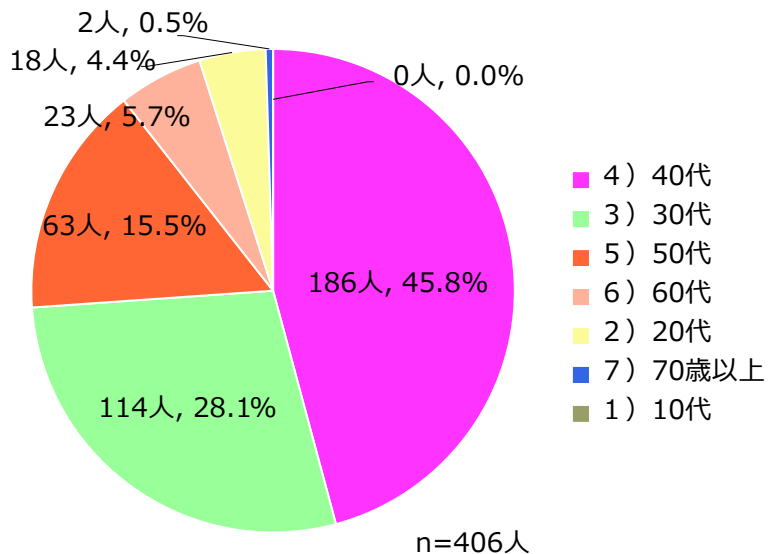
第1回アンケート結果について（速報版）



第1回アンケート結果

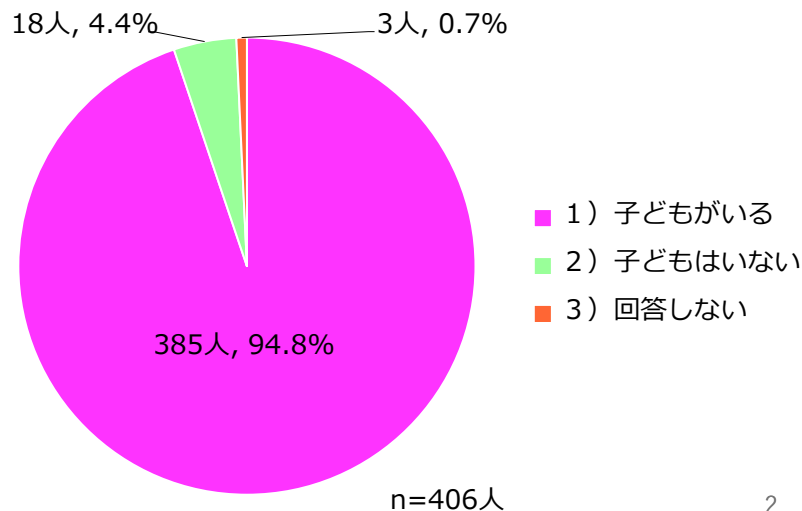
Q1-1. あなたの年齢層

- 回答者の年齢層は40代が最も多く45.8%を占め、30代～40代の子育て世代が全体の7割以上を占めている。
- 中学校統合に関する意見は、主に子育て世代の視点から出されていることがわかる。



Q1-2. お子さんの有無

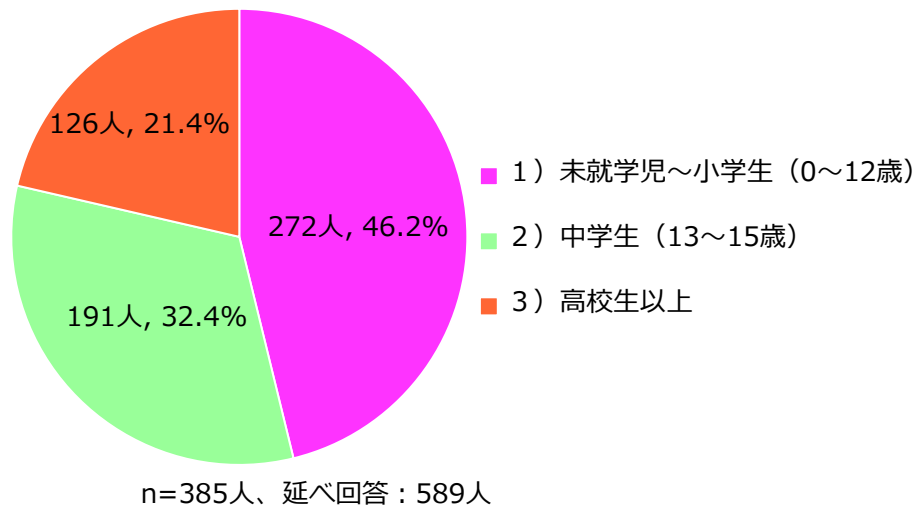
- 回答者の94.8%が「子どもがいる」と回答しており、子育て世代の意向が中心に反映されている。



第1回アンケート結果

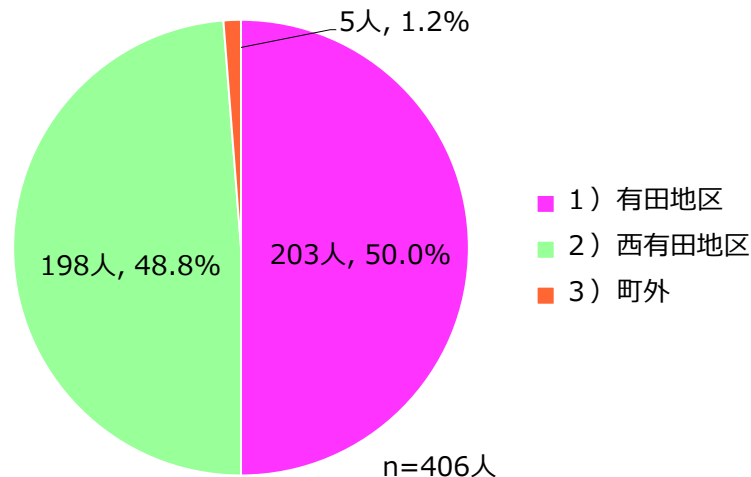
Q1-3. お子さんの年齢層（複数回答）

- 未就学児～小学生（0～12歳）が46.2%、中学生（13～15歳）が32.4%と、中学校に在学中または進学予定の子どもを持つ保護者が多く、中学校統合への関心が高いことが示されている。



Q1-4. あなたの居住地区

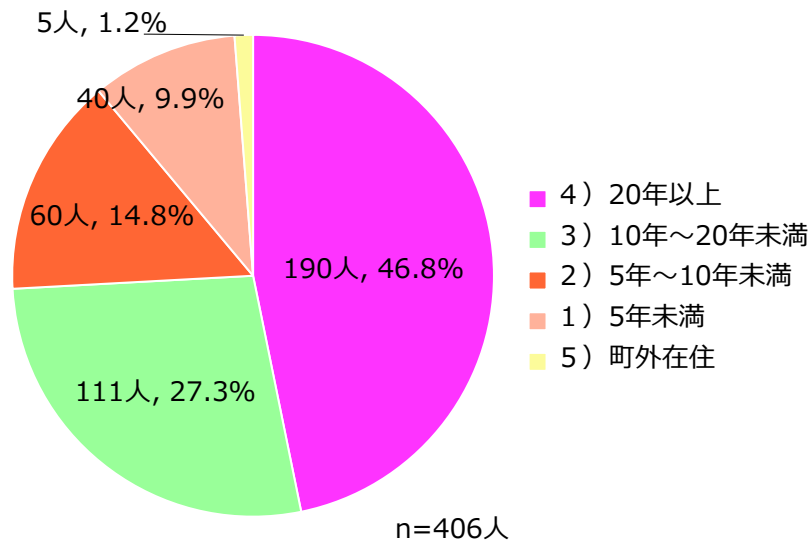
- 有田地区が50.0%、西有田地区が48.8%とほぼ同数であり、両地区のバランスが取れている。
- 統合にあたっては、両地区の通学環境や利便性について総合的に配慮する必要がある。



第1回アンケート結果

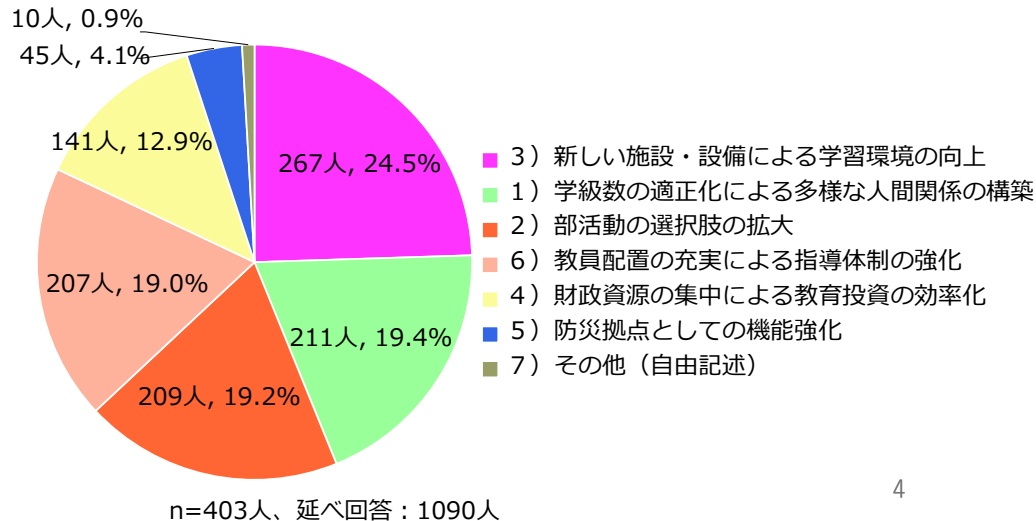
Q1-5. 有田町での居住年数

- 20年以上住んでいる方が46.8%、10年以上が7割以上と、比較的長く住んでいる方が多く、地域の歴史や文化への関心も高いと考えられる。



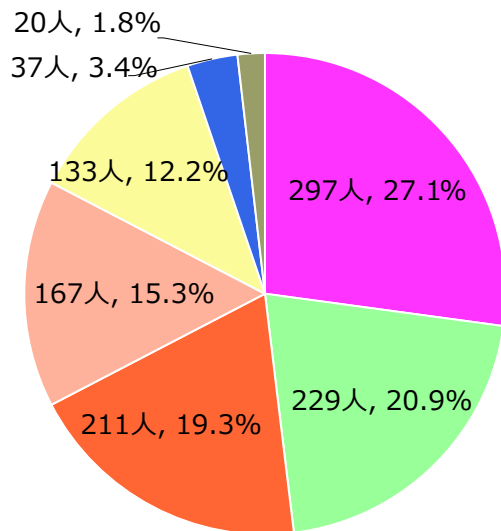
Q2-1. 中学校統合によって期待できること (3つ選択)

- 「新しい施設・設備による学習環境の向上」が24.5%で最も多く、次いで「学級数の適正化」「部活動の選択肢の拡大」「教員配置の充実」がそれぞれ2割弱ずつと、教育環境の質的向上が期待されている。



第1回アンケート結果

Q2-2. 中学校統合について心配なこと (3つ選択)

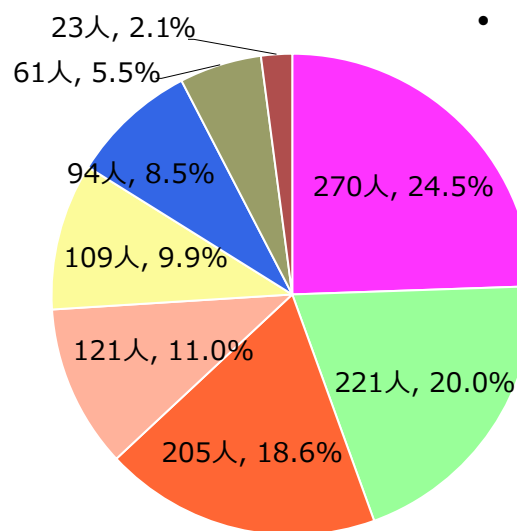


n=401人、延べ回答：1,094人

- 1) 通学距離・時間の増加
- 2) 通学中の安全面の問題
- 6) スクールバス運行に関する課題
- 5) 学校規模拡大による個別対応の難しさ
- 3) 新しい学校環境への適応 (友人関係など)
- 4) これまで培ってきた地域との関係性の希薄化
- 7) その他 (自由記述)

- 「通学距離・時間の増加」が27.1%、「通学中の安全面の問題」が27.3%と、通学に関する懸念が最も多く、スクールバスの運行や安全対策が重要な課題となる。

Q2-3. 新設中学校に特に重視してほしい施設・機能 (3つ選択)



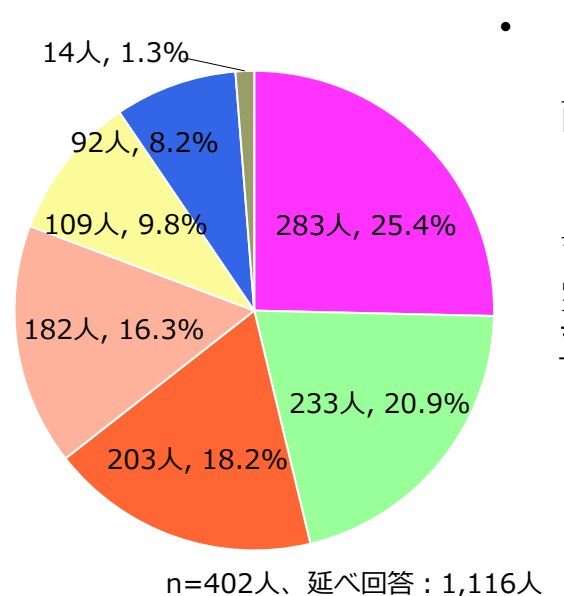
n=402人、延べ回答：1,104人

- 4) 充実した体育施設 (体育館、グラウンドなど)
- 1) ICT環境の充実 (高速ネットワーク、電源確保など)
- 6) 不登校・特別支援に対応した居場所づくり
- 2) 多目的スペース・ラーニングコモンズの設置
- 3) バリアフリー・ユニバーサルデザインの徹底
- 5) 地域との交流スペース (開放型図書館など)
- 7) 省エネ・創エネによる環境配慮型施設

- 「充実した体育施設」が24.5%で最も多く、次いで「ICT環境の充実」が20.0%と、教育環境の整備が重視されている。また、「不登校・特別支援に対応した居場所づくり」や「バリアフリー・ユニバーサルデザインの徹底」など、福祉的な視点も求められている。

第1回アンケート結果

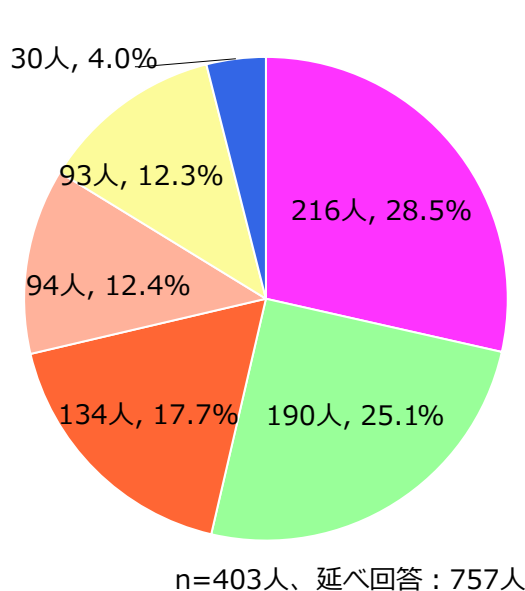
Q3-1. 新設校の教育環境として重視すべき点 (3つ選択)



- 「個別最適な学びと協働的な学びの両立」が25.4%で最も多く、次いで「グローバル教育・英語教育の充実」が20.9%と、教育の質的向上が期待されている。

- 1) 個別最適な学びと協働的な学びの両立
- 6) グローバル教育・英語教育の充実
- 4) インクルーシブ教育の実現 (多様な学びの場の確保)
- 5) 教科の枠を超えた STEAM 教育の推進
- 2) 地域と連携した探究的な学習の推進
- 3) 有田焼など地域資源を活かした特色ある教育
- 7) その他 (自由記述)

Q3-2. 統合後の既存中学校施設の望ましい活用方法 (2つ選択)

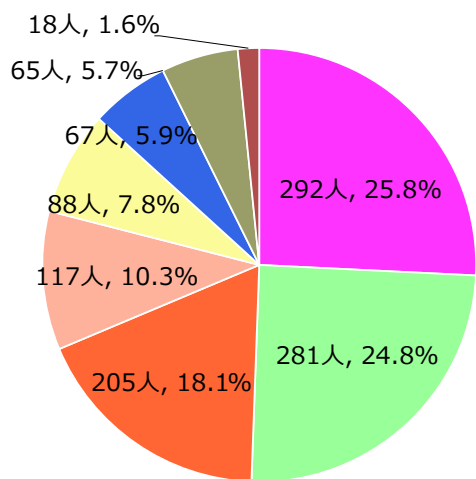


- 「スポーツ施設」が28.5%で最も多く、次いで「解体して公共空間として整備」が25.1%と、地域に開かれた公共施設としての活用が求められている。

- 3) スポーツ施設
- 5) 解体して公園や広場などの公共空間として整備
- 1) 地域の交流センターや生涯学習施設
- 4) 企業誘致や起業支援施設
- 2) 子育て支援施設
- 6) その他 (自由記述)

第1回アンケート結果

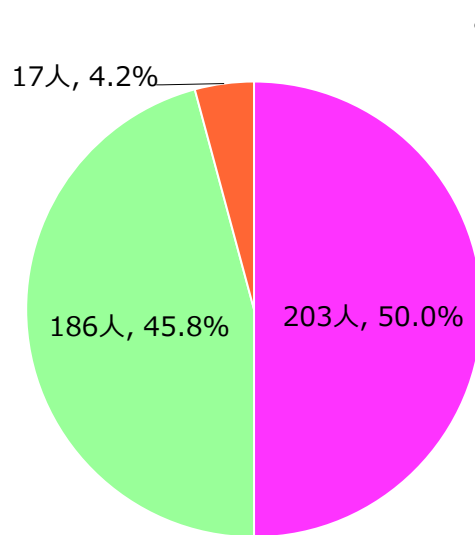
Q4-1. 統合中学校の建設地を決める際に、特に重視すべき点（3つ選択）



n=404人、延べ回答：1,133人

- 「通学路の交通安全」が25.8%、「自然災害に対する安全性」が24.8%と、安全性が最も重視されている。
- また、「通学距離の短さ」や「長距離通学生徒の少なさ」も合わせて3割近くと、通学環境の利便性も重要視されている。

Q4-2. 統合中学校の建設時期



n=406人

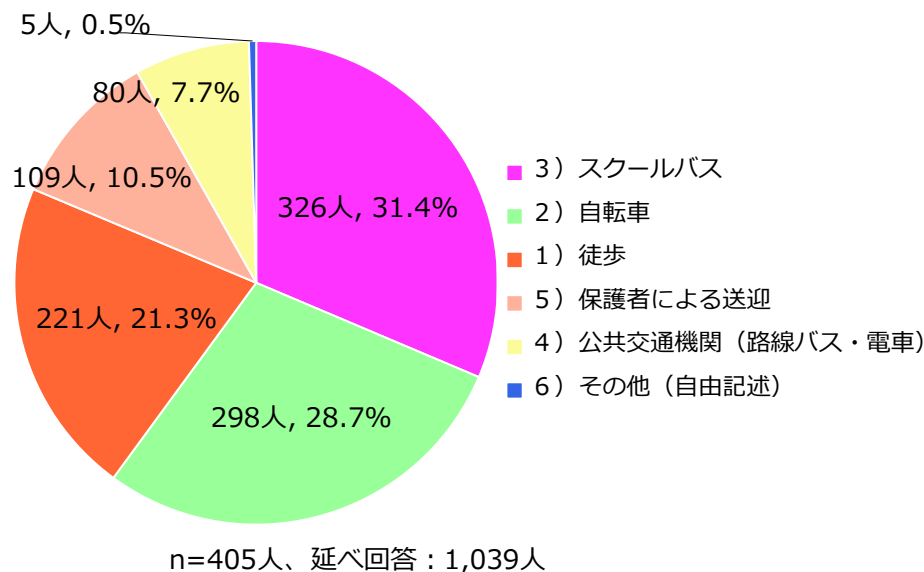
- 「できるだけ早期に建設すべき（10年以内）」が50.0%、「児童生徒数や財政状況を見ながら時期を慎重に検討すべき」が45.8%と、早期建設と慎重検討の意見が拮抗している。

- 1) できるだけ早期に建設すべき（10年以内）
- 2) 児童生徒数や財政状況を見ながら時期を慎重に検討すべき
- 3) その他（自由記述）

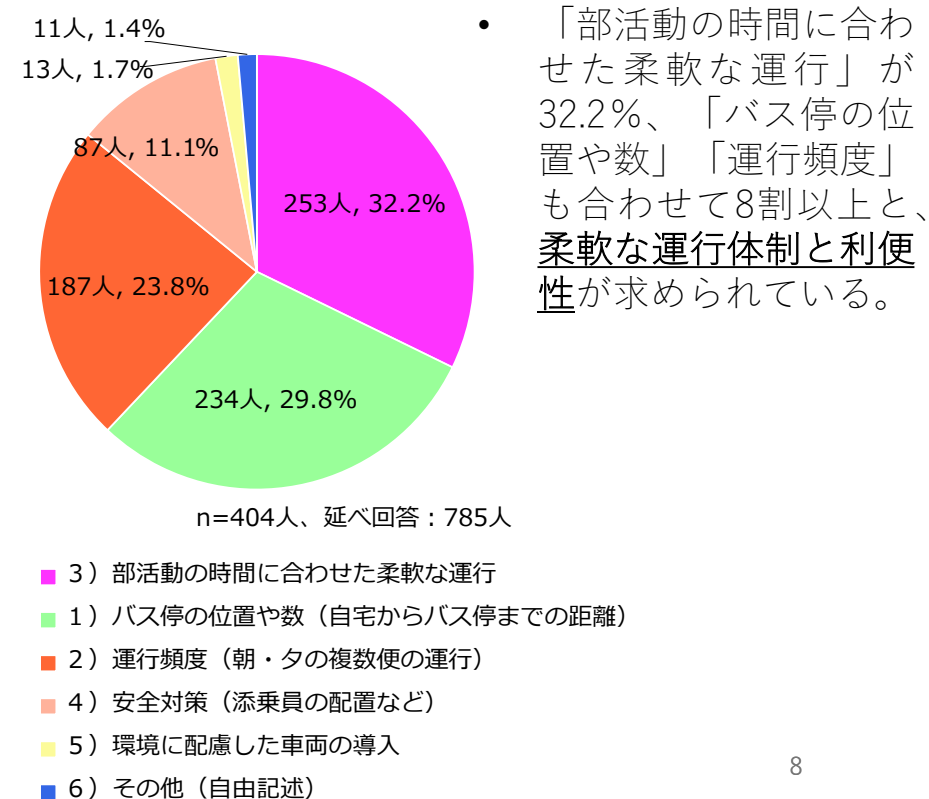
第1回アンケート結果

Q5-1. 統合中学校ができた場合、希望する通学手段
(選択はいくつでも可)

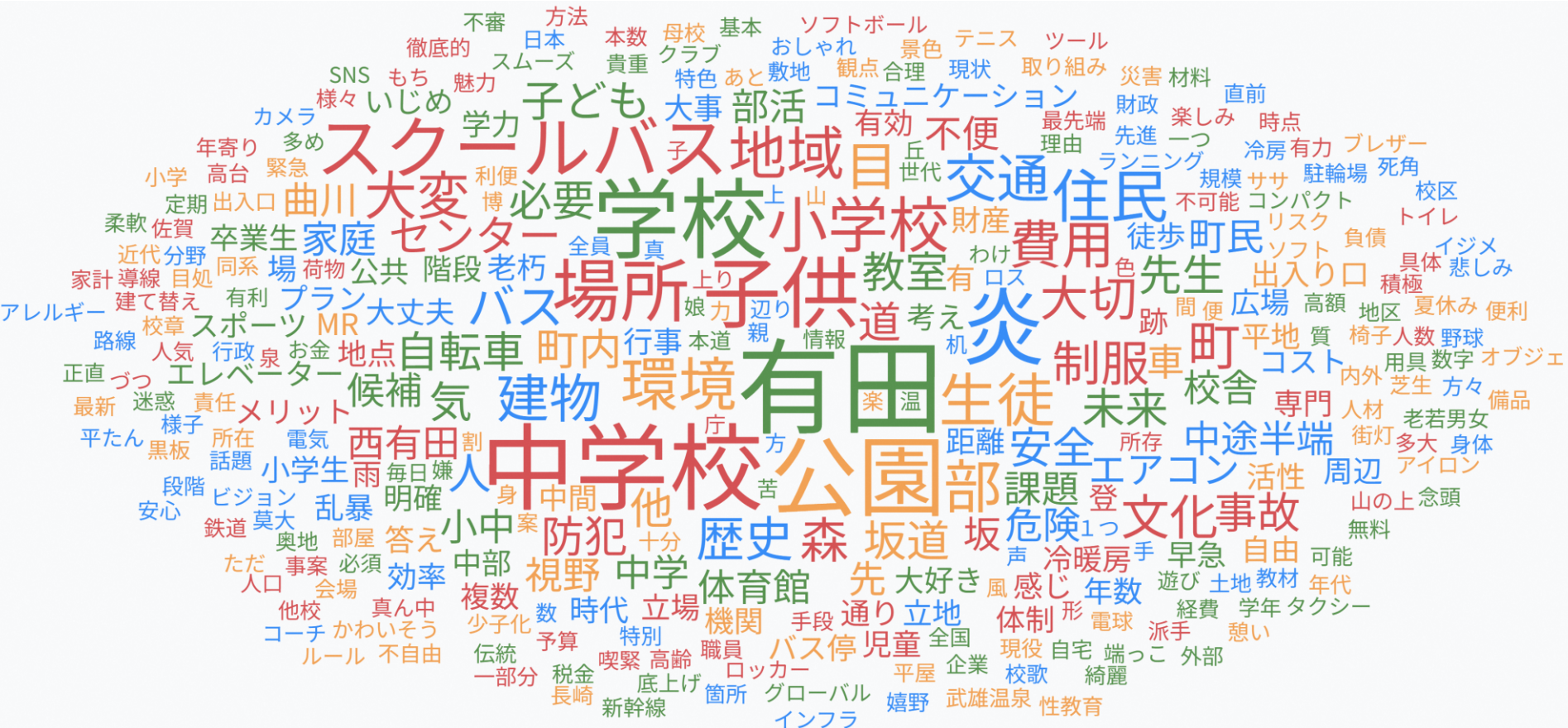
- 「スクールバス」が31.4%、「自転車」が29.8%と、スクールバスの導入が強く望まれている。
- 自力通学（自転車・徒歩・保護者送迎）も合わせて6割を占めている。



Q5-2. スクールバスを導入する場合、特に重視すべき点 (2つ選択)



自由意見におけるキーワード



自由意見の整理

項目	件数	割合	項目	件数	割合
学校施設・設備	28	25.9%	通学・交通	22	20.4%
安全な設計	13		通学距離・坂道	7	
冷暖房・エアコン	4		スクールバス	4	
新設・改築要望	3		送迎・導線	4	
既存施設の活用・保存	2		公共交通機関の活用	4	
エレベーター設置	2		交通安全	3	
駐車場・駐輪場	2		統合・再編	18	16.7%
未分類	1		統合の是非	8	
トイレ・衛生設備	1		統合手順・説明	5	
教育環境・運営	23	21.3%	小中一貫校	3	
部活動環境	7		卒業生・思い出配慮	2	
学力向上	3		地域・まちづくり	9	8.3%
生徒・保護者負担軽減	3		公園・施設の保存	6	
グローバル・近代化	2		地域交流・共生	2	
コミュニケーション	2		インフラ整備	1	
性教育・SNS教育	2		費用・財政	8	7.4%
いじめ・不登校対策	2		制服・備品コスト	5	
給食・食育	2		建設・維持費用	2	
			先延ばし要望	1	
			総計	108	

※分類等については精査中のため変更する場合があります。